

編集後記

雑誌名	日本文学誌要
巻	59
発行年	1999-03-24
URL	http://hdl.handle.net/10114/00020062

編集後記

★ 今年も卒業生を送り出す季節になりました。長びく不況で、四年生は厳しい就職活動を強いられたようです。学生諸君は、高校時代、いや小学校時代から、受験々々でせめたてられ、ようやく大学に入って、さあ、これから本腰を入れて勉強を……と思っているうちに、二年・三年はまたたく間に過ぎ去り、いよいよ卒論に取り組まなければ……と思い始めた時には、就職活動の方に時間をとられてしまう。愚痴を言ってもしかたがないけれど、案外、大学生は忙しいのである。それでも皆、なんとか卒論を仕上げ、多くの学生諸君が大学を後にしていく。中には首をかしげたくなるようなものもあるけれど、書き上げた人たちには何がしかの達成感が残ったはずである。満足なできではなかったと後悔している人も、その思いをバネにして、新たな場所に生かして行つてほしい。

★ 本号には、論文七編、随想三編のほか、〈展望〉、新刊紹介に加え、新たな企画として『法政今昔』をスタートさせた。第一回は、小田切秀雄先生に筆を執っていただいた。法政大学は今、文学部を含めて、これまでになく大きな変化を迎えようとしている。長い歴史をもつ日文科も、こうした時期にあつたため現在にいたる軌跡をふりかえり、これから進むべき道を考える時期に来ている。トップバッターが小田切先生では、次に続く方があるいは尻込みをなさるかもしれないが、稽古照今、様々な観点からの『法政今昔』を描き出して行きたいと思つている。今後とも、ご協力を。

★ 次号は例年通り〈卒論特集〉を予定している。手直ししたもの、書き直したもの、自薦、他薦は問わないので、ふるつて投稿を。

(坂本 勝)

一九九九年三月二十四日 発行	日本文学誌要 第五九号	<div>編集部</div> <div>坂本 勝</div> <div>萩原 一雄</div> <div>大越 嘉七</div> <div>田中 单之</div> <div>杉本 圭三郎</div> <div>発行人</div>	<div>発行所</div> <div>東京都千代田区富士見二ノ十七ノ一法政大学八十年館</div> <div>法政大学国文学会</div> <div>電話〇三(3264)九七五二</div> <div>口座番号〇〇一六〇一七六九四三</div>	<div>印刷所</div> <div>ニチデン</div> <div>電話〇四二三(九五)三七〇一</div>
----------------	-------------	--	---	--